



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東 大 札

上場会社名 エア・ウォーター株式会社

コード番号 4088 URL <http://www.awi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 青木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 岸 貞行

TEL 06-6252-3966

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	117,074	3.2	7,324	△1.8	7,966	△1.3	5,008	20.0
23年3月期第1四半期	113,447	13.2	7,455	15.4	8,067	26.7	4,173	39.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,487百万円 (△16.0%) 23年3月期第1四半期 2,961百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	26.12	25.63
23年3月期第1四半期	21.67	21.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	405,357	168,598	38.8
23年3月期	407,639	169,126	38.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 157,239百万円 23年3月期 157,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	3.6	12,300	△5.5	12,800	△7.3	8,500	26.0	44.32
通期	500,000	6.0	32,000	2.3	33,500	1.6	17,500	49.8	91.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	196,205,057 株	23年3月期	196,205,057 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	4,416,871 株	23年3月期	4,445,373 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	191,726,398 株	23年3月期1Q	192,564,485 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、東日本大震災の影響により、自動車産業を中心に多くの製造業が生産活動の一時的な停滞を余儀なくされ、産業向けビジネスは厳しい状況でのスタートとなりました。しかしながら寸断されていたサプライチェーン（供給網）は、予想を超えるスピードで復旧が進み、とりわけ産業ガスの需要は、概ね震災前の水準に回復するところとなりました。

こうした状況の中、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、医療、エネルギーなど生活分野をはじめとする、多様な事業群による全天候型経営が奏功し、売上高は1,170億7千4百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は73億2千4百万円（同98.2%）、経常利益は79億6千6百万円（同98.7%）、四半期純利益は50億8百万円（同120.0%）と、ほぼ前第1四半期連結累計期間に並ぶ業績となりました。

②当期の連結セグメント別業績

(単位：百万円)

	売上高		経常利益	
	当第1四半期	前年同期比	当第1四半期	前年同期比
産業ガス関連事業	32,148	101.8%	2,618	84.5%
エレクトロニクス関連事業	12,544	106.8%	1,187	118.5%
ケミカル関連事業	18,664	91.7%	801	82.6%
医療関連事業	15,482	106.3%	897	130.0%
エネルギー関連事業	10,931	101.9%	606	107.0%
その他の事業	27,303	111.7%	1,508	104.9%
(調整額)	—	—	347	115.3%
合計	117,074	103.2%	7,966	98.7%

(注) 経常利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

産業ガス関連事業は、鉄鋼オンサイトが一部製鉄所の被災により大幅な減産となりました。さらにサプライチェーン寸断により生産活動が低下した自動車関連向けガス供給が減少いたしました。一方、地域分散型生産プラントV S Uは、9号機が松本市に稼働を開始し、V S Uネットワークによる被災地域への安定したガス供給を実現いたしました。

エレクトロニクス関連事業は、バルクガス供給が6月には主要電子デバイスメーカーの操業度が震災前の水準まで回復するなどにより堅調に推移いたしました。特殊材料は、C I S太陽電池向け特殊ガスが順調に拡大いたしました。

ケミカル関連事業は、コールケミカルが一部製鉄所被災の影響により操業度が低下し、ガス精製のCガス処理量並びに基礎化学品の販売が減少いたしました。

医療関連事業は、医療用酸素がV S U効果により堅調に推移いたしました。医療機器も高気圧酸素治療装置の更新需要並びに新製品アイノフロー拡販により堅調に推移いたしました。病院設備工事は、美和医療電機㈱のM&A効果により高度医療分野でのシナジーが拡大し、好調に推移いたしました。

エネルギー関連事業は、L Pガスが家庭並びに業務用での節約傾向や震災による工業用・業務用顧客の操業低下を受け数量が伸び悩みましたが、販売価格上昇並びに直販顧客増加により、堅調に推移いたしました。

その他事業は、物流事業が食品物流部門の強化並びに車両整備事業のM&Aにより事業拡大を進め、震災影響並びに燃料コストの上昇を吸収し、堅調に推移いたしました。食品事業は、冷凍農産品の拡販、畜産品新商品の販売開始により総じて堅調に推移いたしました。海水事業のうちマグネシア事業は、新興国における電力インフラ整備が進む中、電磁鋼板用マグネシアが高水準の生産を継続し、順調に推移いたしました。塩事業は、小名浜工場が被災し全面的に操業停止となりましたが、赤穂並びに讃岐工場を増産を図るとともに、代替塩により安定供給体制の構築に努めております。このほか、リング事業の回復、エアゾール事業の伸長などを含め、「ねずみの集団経営」を構成する小規模事業群が堅実に収益を積み重ねております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、固定資産の減少などにより前連結会計年度末に比べて22億8千1百万円減少し、4,053億5千7百万円となりました。負債は未払法人税等の減少などにより前連結会計年度末に比べて17億5千3百万円減少し、2,367億5千9百万円となりました。純資産は、その他の包括利益累計額の減少などにより前連結会計年度末に比べて5億2千8百万円減少し、1,685億9千8百万円となりました。

なお、1株当たり純資産は前連結会計年度末の822.05円から819.86円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の38.7%から38.8%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,658	21,016
受取手形及び売掛金	99,292	96,973
商品及び製品	15,065	15,162
仕掛品	4,119	5,720
原材料及び貯蔵品	6,603	7,277
その他	15,322	15,961
貸倒引当金	△1,646	△1,562
流動資産合計	157,415	160,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,043	38,832
機械装置及び運搬具（純額）	60,256	61,029
土地	47,108	47,520
その他（純額）	32,174	28,280
有形固定資産合計	177,583	175,663
無形固定資産		
のれん	12,487	12,274
その他	1,774	1,874
無形固定資産合計	14,261	14,149
投資その他の資産		
投資有価証券	36,987	30,971
その他	22,741	25,336
貸倒引当金	△1,350	△1,311
投資その他の資産合計	58,378	54,996
固定資産合計	250,223	244,808
資産合計	407,639	405,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,072	64,713
短期借入金	35,272	40,235
1年内償還予定の社債	45	45
1年内償還予定の新株予約権付社債	4,000	4,000
未払法人税等	6,769	3,263
課徴金引当金	3,639	3,639
災害損失引当金	555	870
その他の引当金	232	—
その他	24,596	25,029
流動負債合計	139,183	141,795
固定負債		
社債	10,133	10,133
長期借入金	54,840	53,892
退職給付引当金	8,715	7,284
その他の引当金	990	913
その他	24,650	22,740
固定負債合計	99,329	94,963
負債合計	238,512	236,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,013	31,013
資本剰余金	33,183	33,175
利益剰余金	103,883	106,136
自己株式	△4,469	△4,438
株主資本合計	163,611	165,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,073	467
繰延ヘッジ損益	△253	△323
土地再評価差額金	△8,921	△8,926
為替換算調整勘定	126	134
その他の包括利益累計額合計	△5,975	△8,647
新株予約権	219	220
少数株主持分	11,271	11,138
純資産合計	169,126	168,598
負債純資産合計	407,639	405,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	113,447	117,074
売上原価	85,908	89,893
売上総利益	27,538	27,180
販売費及び一般管理費	20,083	19,855
営業利益	7,455	7,324
営業外収益		
受取利息	70	66
受取配当金	326	278
持分法による投資利益	312	324
その他	589	602
営業外収益合計	1,298	1,272
営業外費用		
支払利息	435	404
設備賃貸費用	143	173
その他	107	53
営業外費用合計	686	630
経常利益	8,067	7,966
特別利益		
固定資産売却益	24	27
退職給付信託設定益	—	2,742
その他	—	11
特別利益合計	24	2,781
特別損失		
固定資産除売却損	90	131
災害による損失	—	927
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	77	—
その他	64	178
特別損失合計	232	1,237
税金等調整前四半期純利益	7,859	9,510
法人税等	3,356	4,338
少数株主損益調整前四半期純利益	4,502	5,171
少数株主利益	329	163
四半期純利益	4,173	5,008

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,502	5,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,362	△2,606
繰延ヘッジ損益	△165	△83
為替換算調整勘定	1	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△2
その他の包括利益合計	△1,541	△2,684
四半期包括利益	2,961	2,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,677	2,340
少数株主に係る四半期包括利益	283	147

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	エレクト ロニクス 関連事業	ケミカ ル 関 連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	31,591	11,751	20,358	14,566	10,726	24,453	113,447	—	113,447
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,995	50	0	76	179	3,968	7,270	(7,270)	—
計	34,586	11,802	20,358	14,642	10,905	28,422	120,718	(7,270)	113,447
セグメント利益	3,097	1,002	970	690	566	1,438	7,765	301	8,067

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	エレクト ロニクス 関連事業	ケミカ ル 関 連事業	医療関連 事業	エネルギ ー関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	32,148	12,544	18,664	15,482	10,931	27,303	117,074	—	117,074
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,022	180	15	198	196	3,923	5,537	(5,537)	—
計	33,170	12,725	18,680	15,680	11,128	31,226	122,611	(5,537)	117,074
セグメント利益	2,618	1,187	801	897	606	1,508	7,619	347	7,966

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。